

株式会社やまみ(スタンダード市場 2820)**2024年6月期第2四半期業績概要**

- 第1四半期に続き第2四半期累計でも過去最高の売上高と営業利益を達成。
- 半期で通期利益目標を達成したため、今期の通期業績予想を上方修正。
- 当期純利益が現中期経営計画の最終年度を上回るため中期経営計画を見直し。期末配当は倍増予想。

当社は価格改定の浸透を図るとともに、国内産大豆を使用した製品のセールスを強化することで、価格改定後も順調に販売数量を伸ばし、売上高は9,571百万円（前年同期比22.1%増）と第2四半期累計実績として過去最高となりました。

利益につきましても、引き続き原材料価格の高騰や、エネルギーコストの高止まり、人件費の上昇などの影響を受けましたが、売上高拡大に伴う生産稼働率向上や経費抑制により、営業利益は1,274百万円（前年同期比152.6%増）と大幅に増加し、各利益で第2四半期累計での過去最高を計上することが出来ました。

以上を踏まえ、2024年6月期通期業績予想を上方修正し、中期経営計画を見直いたしました。また期末配当予想につきまして普通配当18円に記念配当1円を加えた19円から普通配当40円に記念配当1円を加え41円の配当予想に倍増いたしました。

○富士山麓工場の進捗について、第2四半期累計で利益計上

富士山麓工場においては、関東圏のお取引先様に北海道産大豆を使った新規商品、乾燥刻み揚げ、これまで製造が困難だった木綿厚揚げ等、幅広く商談を進めた結果、当社製品の競争力と供給力の高さが好評を得て、2024年6月期第2四半期累計売上高は1,451百万円（前年同期は987百万円）と464百万円の増収となりました。営業利益は、原材料価格の高騰やエネルギーコストの高止まりもありましたが、18百万円（前年同期は△203百万円）と221百万円の増益となりました。稼働率が向上し黒字化が定着したことで、全社の利益率向上に大きく貢献いたしました。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業者の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速的に進行しております。大豆や食用油の価格上昇以外にも、原油価格の上昇による包装材料や物流費など各種コストが上昇しており、円安の影響も含めた厳しい環境を背景に、同業他社の廃業も増加の一途を辿っております。

当社は、伝統的なお豆腐から収益性の高いカット3P豆腐や競争力の高い厚揚げ等、ご好評頂いている製品への集約を進め、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進めております。豆腐製品はお買い上げ頂くお客様にとって一番安い製品であり、経営努力により価格を抑えてまいりましたが、適正価格確保の施策により、今後の価格改定の余地はまだ残っており、引き続き価値ある提案を続けてまいります。

○業績サマリー（第2四半期 前年同期比・計画比）

単位：百万円

| | 2023年6月期 第2四半期実績 | 2024年6月期 第2四半期計画 | 2024年6月期 第2四半期実績 | 前年同期比 増減率 (前年比) | 計画比 達成率 |
|--------|---------------------|---------------------|---------------------|-----------------------|------------|
| 売上高 | 7,838 | 8,900 | 9,571 | 22.1% | 107.5% |
| 営業利益 | 504 | 600 | 1,274 | 152.6% (2.5倍) | 212.3% |
| 経常利益 | 521 | 601 | 1,274 | 144.3% (2.4倍) | 212.0% |
| 四半期純利益 | 352 | 408 | 893 | 153.4% (2.5倍) | 218.9% |

1. 2024年6月期第2四半期業績概要

◎売上高

売上高は、当社全ての工場で前年同期比増加。主力商圏（中四国・関西地方等）での価格改定が浸透したこと、関東エリアでの販売も好調に推移していることで順調に推移いたしました。また、すべての営業地域で国内産大豆を使用した製品のセールスを強化したことにより、売上高は前年同期比では1,733百万円の増加となる9,571百万円となりました。

◎売上総利益

売上総利益は、売上高が大きく伸びた影響により、原材料、資材の高騰及びエネルギー価格の高止まり等で製造原価が前年同期と比べ519百万円増加しましたが、国内産大豆を使用した製品など利益率の高い高付加価値商品の販売を強化したことなどから、売上総利益率は20.1%から25.9%まで上昇し、前年同期比では904百万円の増加となる2,481百万円となりました。

◎営業利益

営業利益は、運賃コスト上昇に伴う荷造運賃が前年同期と比べ91百万円増加しましたが、売上高増加と経費削減効果により、営業利益率は6.4%から13.3%に上昇し、前年同期比では770百万円増加致しました。計画対比でも674百万円の増加となる1,274百万円となりました。

◎経常利益

経常利益は、営業外収益、営業外費用ともに前期と大きな差異はありませんでしたが、営業利益と同様、売上高の増加から経常利益率が上昇し、前年同期比では752百万円の増加となり、計画対比でも673百万円の増加となる1,274百万円となりました。

◎四半期純利益

四半期純利益は、農林水産省補助事業である「輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業」の補助金収入54百万円があり、前年同期比で540百万円の増加となり、計画対比でも485百万円の増加となる893百万円となりました。

2. 2024年6月期通期の業績予想ならびに配当予想の上方修正について

最近の業績動向を踏まえ、2023年8月9日に公表しました2024年6月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

2024年6月期通期業績予想の修正

| | 売上高 | 営業利益 | 経常利益 | 当期純利益 | 1株当たり 当期純利益 |
|----------------------------|---------------|--------------|--------------|------------|--------------------|
| 前回発表予想 (A) | 百万円 17,800 | 百万円 1,200 | 百万円 1,202 | 百万円 815 | 円 銭 116.98 |
| 今回修正予想 (B) | 19,000 | 2,000 | 2,002 | 1,337 | 191.89 ※ (1.7倍) |
| 増減額 (B-A) | 1,200 | 800 | 800 | 522 | 74.91 |
| 増減率 (%) | 6.7 | 66.7 | 66.6 | 64.0 | 64.0 |
| (ご参考) 前年同期実績 (2023年6月期) | 16,178 | 1,039 | 1,061 | 802 | 115.18 |

※前年同期の当期純利益との対比となります。

当社の取組として価格改定を進めてまいりましたが、改定後も順調に販売数量は伸長し売上高は増加いたしました。その結果、売上高総利益率、営業利益率ともに上昇し、原価上昇や為替の影響を一定程度吸収することが出来る見込みとなり、売上高、営業利益、経常利益、当期純利益の通期の業績予想を上方修正することいたしました。

配当予想の修正

| | 年間配当 | | |
|-----------------|--------------|--------------|--------------|
| | 第2四半期 | 期末 | 合計 |
| (前回予想) 2024年6月期 | 円 銭 19.00 | 円 銭 19.00 | 円 銭 38.00 |
| 今回修正予想 | 19.00 | 41.00 | 60.00 |
| (前期実績) 2023年6月期 | 14.00 | 18.00 | 32.00 |

当社は株主への利益還元を経営上の最重要課題と位置付け、設備投資等将来にわたって企業価値を高める資金を勘案しながら、配当性向30%以上または下限としてDOE(株主資本配当率)2.5%を目途に、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。今回、上記方針に基づき、通期の当期純利益予想を上方修正することに伴い、当期の期末配当予想を従来予想19円に22円上乗せした41円とし、年間配当予想を38円から60円(うち記念配当2円(中間・期末各1円))に修正することいたしました。

3. 中期経営計画の見直しについて

(単位：百万円)

| | 2024年6月期 | | 2025年6月期 | | 2026年6月期 | |
|-------|----------|-------|----------|-------|----------|-------|
| | 金額 | 増減率 | 金額 | 増減率 | 金額 | 増減率 |
| 売上高 | 19,000 | 17.4% | 21,000 | 10.5% | 23,000 | 9.5% |
| 営業利益 | 2,000 | 92.5% | 2,310 | 15.5% | 2,760 | 19.5% |
| 経常利益 | 2,002 | 88.7% | 2,312 | 15.5% | 2,762 | 19.5% |
| 当期純利益 | 1,337 | 66.7% | 1,502 | 12.3% | 1,795 | 19.5% |

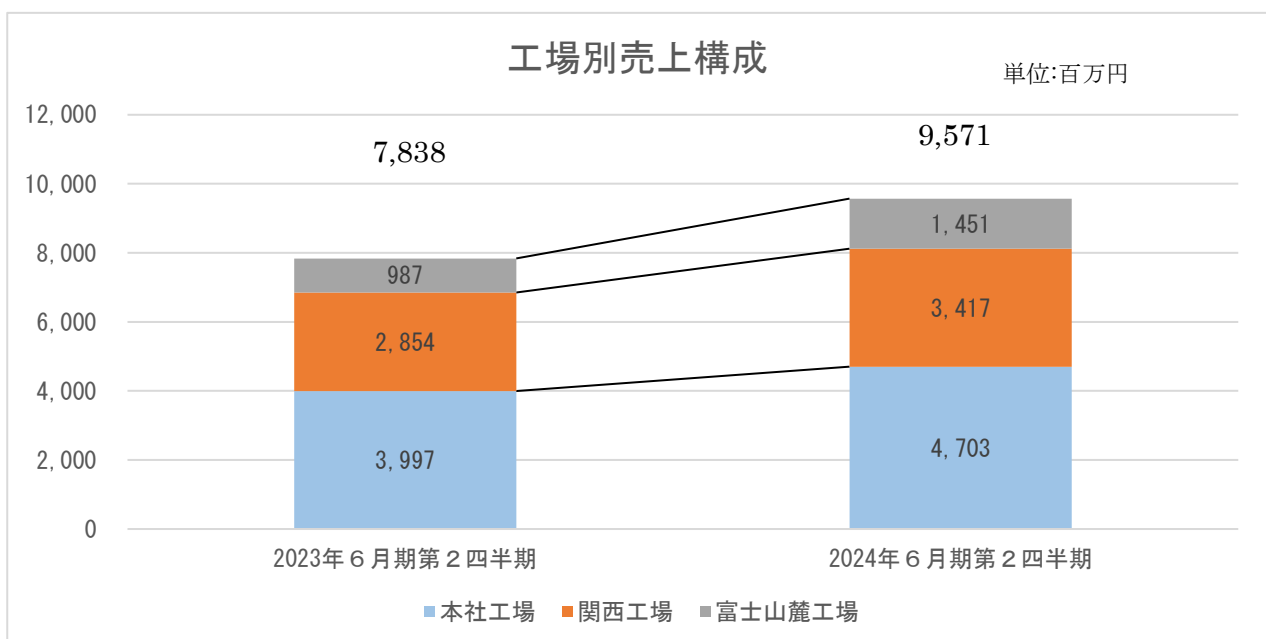
(注) 上記の数値目標は、当社が達成を目指すとした数値目標であります。現時点で入手可能な情報に基づき経営判断したものであります。その実現を確約し、または内容の正確性を保証するものではありません。実際の業績は、様々な要因により当該目標数値と異なる可能性があります。

2024年6月期第2四半期の売上高は、全工場の売上高が伸びて計画を上回りました。各段階利益につきましても、原材料価格の高騰や資源価格の高止まりがありました。ローコスト運営の推進により計画を上回りました。国内産大豆による高付加価値商品への切り替えが進んでいること、関東圏での認知度も高まってきていること、ローコスト運営の推進も図られてきていることから、2024年6月期以降の中期数値目標を売上高・各段階利益とも上方修正することといたしました。

4. 工場別売上構成について

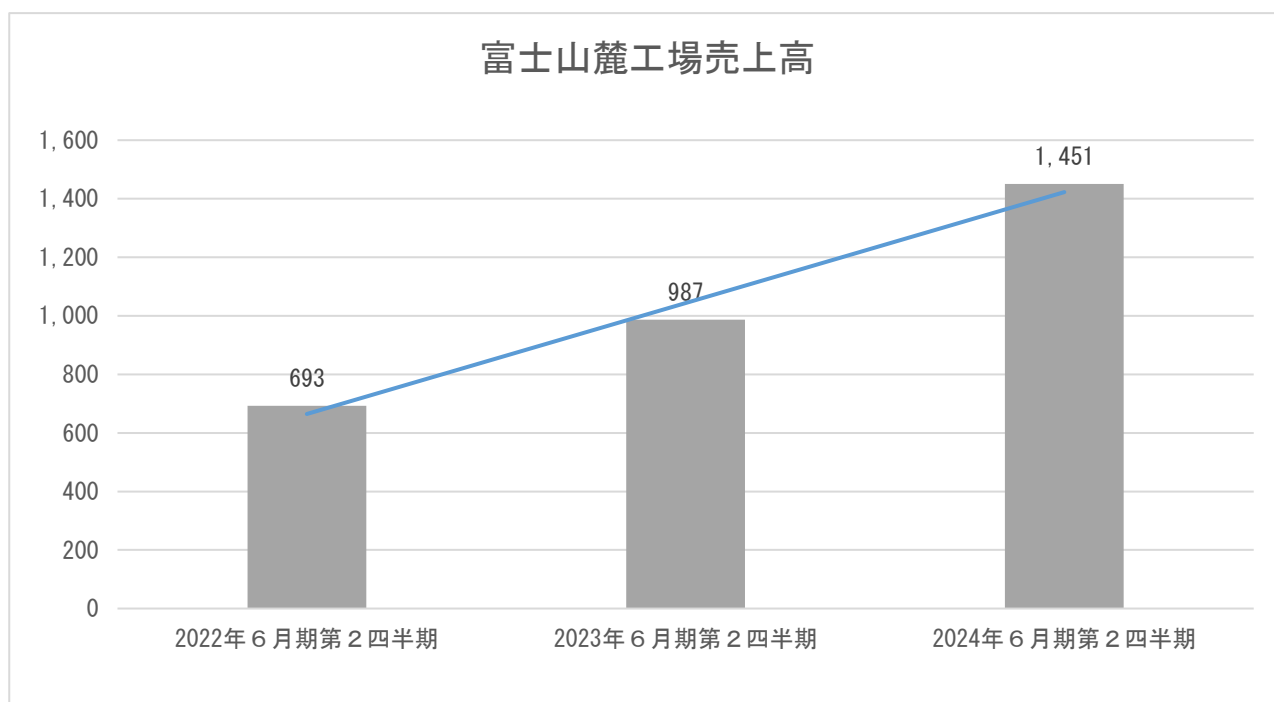
2024年6月期第2四半期における当社の工場別売上構成について

当社の主力商品である豆腐だけでなく、厚揚げ・油揚げ等も好評で、国内産大豆による高付加価値商品への切り替えを進め、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、全ての工場で前年同期比を上回る売上高となりました。



5. 富士山麓工場売上高について

富士山麓工場については、関東でのお取引様に当社製品の競争力、品質が認知され幅広く商品の納入が増加し、2024年6月期第2四半期における売上高が1,451百万円となり、前年実績の987百万円から464百万円増加しました。価格改定の浸透と国内産大豆を使用した製品のセールスによって、2023年6月期第2四半期増加額が294百万円であったことに対し、2024年6月期第2四半期増加額は464百万円へと増加いたしました。また、売上高増加により、富士山麓工場でも大幅に利益が増加し、黒字化を達成することができました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和50年1月
代表者： 代表取締役社長 山名 徹
資本金： 1,245百万円
事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売
本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛73番地5
事業所 関西工場
滋賀県甲賀市水口町さつきが丘16番地
富士山麓工場
静岡県駿東郡小山町湯船字下原959番16
大阪営業所
大阪府茨木市末広町4-41-202
東京営業所
東京都北区東田端2-7-16 神原ビル2 101号室
従業員数 正社員 259名、パート社員 330名
合計 589名 (2023年12月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL：0120-047-803 FAX：0848-86-3676 e-mail：ir@yamami.co.jp

本資料は、2024年6月期第2四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2024年2月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。